

ペプチド

■ 用語解説 ■

ペプチドは、アミノ酸が2個から10個つながったもので、動物の体内で、摂取した植物のタンパク質の消化過程で胃や小腸の中でつくられ、ホルモンの働きをする。最近のペプチドは、タンパク質に比べ消化吸収がよいことから、消化吸収力の弱い赤ちゃんや高齢者用食品として工業的に、ミルク、大豆、小麦、卵白などのタンパク質を酵素分解し、栄養摂取目的として生産されている。